「草鹿」の奉納で子供の成長祈願
小笠原流保存会が鎌倉宮で奉納

端午の節句の5月5日、子どもの健やかな成長を祈願して、小笠原流の鎌倉古式弓道保存会（有井弘臣会長）が、古式にのっとって「草鹿」の儀式を鎌倉宮で奉納した＝写真。

鎌倉時代、源頼朝が家臣の弓術上達法として、草を束ねて作った鹿を射って、稽古させたのにちなむ儀式で保存会の人たち31人が烏帽子に狩衣姿の装束で披露した。

縦横50㌢余、小鹿ほどの大きさの的は鹿革のぬいぐるみ。5人ずつ紅白に別れた射手が、つるした鹿の的に18㍍の距離から順に矢を放つ。鹿には大小24個の白の円形があり、的中の部位や所作で勝負を競う。

プーンと音を立てて飛ぶ鏑矢もあった。射手には水干狩衣姿の女性もいた。勝ち組には「尚武」と音が同じ、ハナショウブが神職から贈られるが、この日は珍しく同点引き分け。

1981年から行っているが、小雨の天候で予定を早め、境内が工事中のためった。

米軍基地内に桜を植樹、石碑建立
いけばなインターナショナル

場所を少し移動して奉納した。観光客らは傘を手にしながら、悠久の世界にひたった。

交流を通して伝統芸能などを海外に紹介し、日本の理解に努めている、いけばなインターナショナル鎌倉支部（片野順子支部長・会員153人）は5月3日、米軍横須賀基地内にしだれ桜を植樹し、記念碑を建立した＝写真。

これはいままでの交流の実績が評価され、3月に基地内の文化団体として認定されたことへの感謝として行った。片野支部長や高徳院の佐藤美智子さんら28人が、和服などで参加、担当のキャプテン・ダニエルウィードさんの案内で基地内の娯楽施設などのある広場で記念式をした。

3㍍ほどに育ったしだれ桜は参加者が、「国を超えた友情の証しとして咲き続けて」の願いを込めて土をかけた。近くの1㍍四方などの記念碑には「いけばな友好促進に貢献」の文字が英文で刻まれている。

同組織は1956年に米インターナショナル鎌倉支部が、1961年から日米国人の提唱で日本に設立され、世界60カ国に165の支部がある。鎌倉支部は毎月、伝統文化紹介の行事を行い親善外交をしている。

ひと
鎌倉市医師会立の産科診療所長に就任
前田光士（まえだ みつお）さん

「お産難民を救いたい」の思いがある。今年開設した医師会立産科診療所「ティアラ」の所長さん。

年間約1300人の子どもが出生している鎌倉市に出産できる施設が1カ所しかなく、多くの市民から産院の要望がでていた。昨年5月、市と医師会で「医師会立産科診療所」に関する協定が締結された。

市が建物の改修、設備などを調え、医師会が人員確保など運営を行う「産科診療所」が小町に2月17日開所し、外来診療が開始された。

初めての出産は3月7日で5月25日現在、32人生まれている。うち15人の出産が夫や母親、赤ちゃんの兄弟などの立会いのもとの出産。帝王切開も2例ある。

前田さんは都立病院の産婦人科部長をしていたところ、市医師会から望まれ、都立病院を2月退職。3月からティアラに副所長として勤務をはじめた。

当初、産科医は3人で、所長に日赤医療センターを定年退職した雨森良彦氏を迎えていたが、3月2日、同氏が突然の辞意を表明。医師会の理事会の承認を経て4月1日付で前田さんが所長になった。

「ここへ勤務するようになってから、遠くへ行けなくなった」。

分娩以外に週4回、外来診療を担当し、緊急時にはすぐかけつけられる態勢をとっている。「休日でも遠出しない」と誠実さが伝わってくる。

「子どものときから親に医者をめざすようにいわれ、医者になった」

生まれは東京で、3男1女の兄弟の次男。がっしりした体格は、空手仕込み。大学時代に全国大会に出場したこともあるという。

車好きで学生時代はスポーツカーに乗っていた。国内の移動はほとんど車。昨年暮れ、栃木で学会があり、夫人を同伴された。「会場に奥さんが入ったのはうちだけだった」と笑う。

夫人は小笠原惣領家流礼法の師範で、本も出版している。5月に横浜の劇場で発表会があり、古式祝いの場面などが披露された。

「昔の日本は古式豊かだったと感動したよ」目元と口元に浮かぶ笑みがやさしい。

「なるべく自然分娩のお産をめざしたい」医療の話になると、真剣な表情に変わる。

ライフワークは「骨盤位（逆子）の経膣分娩」で、35週をすぎたお産は帝王切開でなく自然分娩が望ましいという。最近10年間で240件以上、手がけてきた。

この診療所では今すぐには無理だが、設備と人材の確保ができて集中的に対応できれば、可能という。「助産婦さんが優秀だからきっとできる」と夢を語る。

横浜市在住。67歳。（C）

長内美那子さん、朗読を熱演
平和願う憲法記念日のつどい

「いのち伝えて―朗読とマリンバ演奏でつづる平和への祈り」と題した憲法記念日のつどいが、鎌倉市と同市平和推進実行委の主催で5月3日、鎌倉生涯学習センターで開かれた。

鎌倉在住の女優長内美那子さんが、回想録「戦争と鎌倉人」から朗読用に編集した戦争体験記を約30分にわたって熱演した＝写真。

これは96年、鎌倉の戦争体験記出版委員会が発行した。

平和への願いを込めた長内さんの熱のこもった話振りに、会場を埋めた人たちを魅了した。聞き慣れた地名などが出てくるため、身近な戦争体験として聞いた。

メキシコ在住のマリンバ奏者古徳景子さんの演奏は新型豚インフルエンザに関連して出演できなくなり、祖父のヒロシマ被爆救護体験をもとに作曲した「学・GAKU」というマリンバ演奏の映像を紹介した。

訪れていた人たちは改めて平和の尊さを思った。

パレードや模擬店、演奏会など
好天、大船まつりにぎわう

夏日を思わせるような好天の5月10日、第6回大船まつり（江間秀男実行委員長）がにぎやかに繰り広げられた。

鎌倉女子大中高等部のマーチングバンドの先導で、武者行列、一輪車、手踊り など参加15団体約5百人が、目抜き通り4㌔㍍ほどをパレードした＝写真。

沿道には親子連れらが、人垣をつくり、ミス鎌倉、婦人会、町内会、保育園など華やかな衣装の人たちの行進に声援を送った。

スーパーなどの広場では和太鼓、吹奏楽、祭りばやし、マンドリン、ギターの演奏、物まねなどのコンサートも開かれた。遊び広場では竹馬、ペーゴマ、折り紙、マジックショー、似顔絵描きなどもあった。

大船消防署のはしご車の体験乗車なども。綿菓子、やきそば、やきとりなど17の模擬店も雰囲気を盛り上げた。約80店のフリーマーケットもあり、訪れた人たちは音楽を聞いたり、やきそばを食べたり、会場を行ったり来たりの大忙しの様子だった。

浜辺にワニやカメ、大ダコ
小学生たちが55回目砂工作

砂浜にワニ、カメ、沈没船、大ダコ、江ノ電、お菓子の家などが出現。晴天の5月11日、材木座海岸と腰越海岸で「かまくら砂工作の会」が行われた＝写真。

海や砂浜などの自然に触れ、協力し合ってものを作りあげる機会をと企画されて55回目。鎌倉市立小16校の4年生約千3百人が参加した。市教委と市学校教育研の主催。

バケツで水を運んだり、シャベルやスコップで掘ったり固めたり叩いたりと思いきり海水や砂の感触を楽しみ、グループごとに思い思いの作品に取り組んだ。

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前　☎0467-22-0266
大船駅東口前　☎0467-46-3841
島森書店

yanase かまくらカスター
鎌倉本店　鎌倉駅前本館　☎23・3851
逗子店　ルミネウィング（大船）店
横浜そごう店　藤沢小田急店
明日からニューシャーマン

心なごむ銘菓の数々、ご家庭での憩のひと時に、また贈物にご用命下さいませ。
神奈川県指定銘菓　あじさい
十二所バス停先　鎌倉紅谷　☎(25)2187

あじさい、水ようかん　初夏の味をどうぞ。
御菓子司　大くに
鎌倉大町四ツ角　☎22―1899

明日の環境を創造する。
浄化そうの清掃維持管理
貯水槽清掃及び環境整備事業は
株式会社　神中運輸
〒248-0007　鎌倉市大町4-1-35　☎(0467)(22)2205㈹

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ　茅木家
☎(22)1460

漢方薬専門薬局・漢方処方調剤
大船の漢方薬
大船漢方堂
漢方薬専門薬局ですので、なるべく本人が御来店下さい。
〒247-0061　鎌倉市台1-3-10　TEL.0467(47)3311
営業時間：午前10時～午後7時　木・日・祝日休業